
平成29年度東京農工大学AO入試（ゼミナール入試〔農学部 環境資源科学科〕）における入学試験問題の出題ミスについて

平成28年11月26日（土）に実施しましたAO入試（ゼミナール入試〔農学部 環境資源科学科〕）第二次選考の入学試験問題「第2回ゼミナールのレポート」において出題ミスが判明いたしましたので、下記のとおり公表します。

受験者の皆様をはじめ関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。

今後、このようなことがないよう、再発防止に万全を期する所存でございます。

なお、平成29年度東京農工大学AO入試（ゼミナール入試〔農学部 環境資源科学科〕）入学試験は、当初の日程どおり実施され、予定どおり12月16日（金）に第二次選考の合格発表をすることとしております。

記

1. 出題ミスの内容

「第2回ゼミナールのレポート」の大問②について、本来は「 $\dots \log_{10}2=0.3010$, $\log_{10}3=0.4771$, $\log_{10}5=0.6990\dots$ 」と記載すべき所に、誤って「 $\dots \log_{10}2=0.6931$, $\log_{10}3=1.099$, $\log_{10}5=1.609\dots$ 」と記載してしまったため、受験者を混乱させることになり、問題として不適切であった。

2. 対象となる受験者数

AO入試（ゼミナール入試〔農学部 環境資源科学科〕）第二次選考受験者19名です。

3. 出題ミス発見の経緯

「第2回ゼミナールのレポート」の終了後、受験者からの質問により発見しました。

4. 出題ミスへの対応

該当の大問②を全員正解として扱いました。

5. 今後の対応策

問題作成及びチェック体制のさらなる整備を行い、出題ミスの防止に努めてまいります。

添付資料 平成29年度東京農工大学AO入試（ゼミナール入試〔農学部 環境資源科学科〕）学生募集要項抜粋、
当該試験「第2回ゼミナールのレポート」問題抜粋

◆ 本件に関する問い合わせ◆

東京農工大学学務部入試課長 高木 学

TEL：042-367-5543 / FAX：042-367-5585

平成 29 (2017)年度

A O 入試学生募集要項

- ・ゼミナール入試 (農学部 環境資源科学科)
- ・S A I L 入試 (工学部 物理システム工学科・情報工学科)



東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology

ゼミナール入試

1. 趣 旨

農学部環境資源科学科ではゼミナール方式の集中講義および実験教室を通じて、一般入試では判定することが難しい専門分野への適性、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、基礎学力などを総合的に評価することにより、本学および本学科のアドミッション・ポリシーに即した者を対象に、ゼミナール入試を実施します。

2. アドミッション・ポリシー

環境資源科学科のアドミッション・ポリシー

1. 環境資源科学科は、人類が地球環境と調和して生きていくための科学技術を創成することを目指し、生物学、化学、物理学などの自然科学に関する基礎学力を身につけ、環境や資源に関する問題解決に貢献しうる洞察力と探究心をそなえた人材を養成することを目的にする。このような目的を持つ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような者を求める。
2. 環境や資源に関する諸問題に関心があり、そうした諸問題の解決に貢献したいという意欲を持つ者。
3. 生物学・化学・物理学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

ゼミナール入試で求める人物像

環境資源科学分野に強い興味と熱意を示すとともに、研究を志向し遂行できる素質を持ち、共に学ぶ仲間をリードしていけるような積極性と行動力があるなど、将来性のある人材を求めています。また、積極的に理科を志向し、かつ理科に適性を有し、環境資源科学科のアドミッション・ポリシーに即した方を求めています。

3. 実施学部・学科、募集人員

学部名	学科名	募集人員
農学部	環境資源科学科	3人

(注) 合格者数が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は一般入試（前期日程試験）の募集人員に加えます。

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を平成27年4月以降に卒業した者および平成29年3月までに卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月以降に修了した者および平成29年3月までに修了見込みの者

5. 出願要件

本学環境資源科学科が実施する第1回ゼミナール（平成28年10月8日（土））受講を証明された者のうち、次のすべてに該当する者

- (1) 学習成績が優秀な者
学校長から高い評価を得ている者（志願者評価書は、学校長に発行してもらいますが、学校ごとに発行できる志願者の人数は特に制限しません。）
- (2) 本学環境資源科学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者
- (3) 最終合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (4) 第二次選考合格者は、本学が平成29年度大学入試センター試験において指定する3教科5科目（8ページ参照）を必ず受験すること

6. 入学者選抜方法等と日程

入学者の選抜は、出願書類（志望理由書、活動報告書、調査書）の内容、ゼミナール（第1回・第2回）の結果、面接および大学入試センター試験の成績を総合して選考します。志願者評価書は参考資料とします。第一次選考と第二次選考を分けて行います。

	日 程	選 抜 方 法 等
(1)	平成28年9月14日（水） ～9月21日（水）	第1回ゼミナール受講申込み期間 本学生募集要項15ページにより手続きをしてください。
(2)	平成28年10月8日（土）	第1回ゼミナール（第一次選考） 受講後、第1回ゼミナール課題レポートを提出していただきます。
(3)	平成28年10月14日（金） ～10月20日（木）	出願期間 事前に第1回ゼミナール受講を証明されていることが必須要件です。
(4)	平成28年11月11日（金）	第一次選考結果通知 出願書類（志望理由書、活動報告書、調査書）の内容および第1回ゼミナール課題レポートに基づいて、総合的に評価します。 本人あてに選考結果を速達郵便で送付します。

(5)	平成28年11月26日(土)	第2回ゼミナールと面接(第二次選考) 第一次選考合格者のみに実施します。 環境資源科学に関する実験を見学し、その直後に提出する第2回ゼミナール課題に基づいて、実験に対する基礎学力および探究能力を評価します。 さらに、面接(志望動機等を試問)を実施し、課題レポートと併せて、総合的に評価します。																		
(6)	平成28年12月16日(金)	第二次選考結果通知 本人あてに選考結果を速達郵便で送付します。 また、合格者には合格通知および入学志願者情報処理原票を同封します。																		
(7)	平成29年1月14日(土) ～1月15日(日)	大学入試センター試験 第二次選考合格者に対して次に示す教科・科目の平成29年度大学入試センター試験を課します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>配点</th> <th>科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 学</td> <td>100</td> <td>数学Ⅰ・数学A を1科目</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100</td> <td>数学Ⅱ・数学B を1科目</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>200</td> <td>物理、化学、生物、地学 から2科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>200</td> <td>英語(リスニングを含む。) を1科目(注)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>600</td> <td>3教科5科目</td> </tr> </tbody> </table> (注) 外国語(英語)は、筆記試験を160点、リスニングテストを40点とします。	教科	配点	科目名	数 学	100	数学Ⅰ・数学A を1科目		100	数学Ⅱ・数学B を1科目	理 科	200	物理、化学、生物、地学 から2科目	外国語	200	英語(リスニングを含む。) を1科目(注)	計	600	3教科5科目
教科	配点	科目名																		
数 学	100	数学Ⅰ・数学A を1科目																		
	100	数学Ⅱ・数学B を1科目																		
理 科	200	物理、化学、生物、地学 から2科目																		
外国語	200	英語(リスニングを含む。) を1科目(注)																		
計	600	3教科5科目																		
(8)	平成29年2月8日(水)	最終選考合格発表 平成29年度大学入試センター試験で受験を課す教科・科目の得点合計が、環境資源科学科が定める合格基準点(390点)以上であった者を最終選考合格者とします。なお、大学入試センター試験の成績の複数年度利用は行いません。																		

7. 出願手続等

(1) 第1回ゼミナール受講申込み

申込期間：平成28年9月14日(水)～平成28年9月21日(水) 必着
ゼミナール申込みについては、15ページにより手続きをしてください。

(2) 出願期間

平成28年10月14日(金)～10月20日(木) **17時までに書留速達にて必着**

ただし、10月20日17時以降に到着したものは、10月18日までの発信局消印があるものに限り、受理します。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

※出願にあたっては、事前に第1回ゼミナール受講を証明されていることが、必須要件です。

(3) 出願先

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1
東京農工大学学務部入試課入学試験係

8. 合格発表等

(1) 日時・場所等

第一次選考	平成28年11月11日（金）	郵送による結果通知
第二次選考	平成28年12月16日（金）	郵送による結果通知
最終選考	平成29年2月8日（水）午前10時	農学部掲示板（3日間）

合否に関わらず、選考結果を本人に送付します（速達郵便）。
なお、情報提供の一環として、本学ホームページ（<http://www.tuat.ac.jp/>）にも、2月8日（水）午前10時30分頃から3日間、合格者の受験番号を掲載する予定ですが、公式の通知は掲示および送付する合格通知書によります。

- ①電話その他による合否に関する問合せには、いかなる事由があっても応じません。
- ② i) ゼミナール入試第二次選考合格者は、本学の推薦入試Ⅱに出願できません。
ii) 平成29年度大学入試センター試験において、本学の学部・学科が指定する教科・科目を受験した者は本学の一般入試（前期・後期日程試験）にも出願できます。早めに一般入試学生募集要項を入手し、確認してください。

9. 入学手続

入学手続の詳細は、合格通知書と同時に通知します。

(1) 入学手続方法

- ①入学料を納入し、入学手続書類を期日までに必着で郵送してください。
- ②やむを得ず郵送できない場合は、必ず事前に連絡してください。

期 日	平成29年2月15日（水）16時必着
郵 送 先	東京農工大学学務部学生総合支援課 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 問合せ先電話 042-367-5537
郵 送 方 法	「書留速達」で、必ず本学への配達日を確認してから送付してください。

(2) 納入金

納入金	入学料	282,000円
	授業料	267,900円（平成29年度前期分）年額：535,800円

- ①授業料の納入については、入学後の納入（前期分：平成29年5月1日から5月31日まで、後期分：平成29年11月1日から11月30日まで）となります。
- ②在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。
- ③入学料および授業料の納入方法は、後日お知らせします。

(3) 入学手続提出書類

- ①本学受験票
- ②大学入試センター試験受験票
- ③その他の書類は、合格通知書と同時に別途通知します。

東京農工大学農学部環境資源科学科第2回ゼミナール（平成29年度）

レポート用紙

受験番号	
------	--

- 2 ある色素の濃度が異なる2つの溶液，溶液Aと溶液Bのそれぞれについて，可視光領域の吸収スペクトルを，同じ容器を用いて測定した。この実験について，以下の(1)と(2)に答えよ。答えの数値だけではなく，答に至った考え方や計算も簡潔に説明せよ。ただし，溶媒と容器は可視光を吸収しないものとする。また必要であれば， $\log_{10}2 = 0.6931$ ， $\log_{10}3 = 1.099$ ， $\log_{10}5 = 1.609$ を使うこと。
- (1) 溶液Aと溶液Bについて，ある波長で測定した吸光度はそれぞれ1.00と2.50であった。溶液Bの濃度は溶液Aの濃度の何倍かを答えよ。
- (2) (1)と同じ波長で測定した溶液Aの透過率は溶液Bの透過率の何倍となるかを答えよ。

2 (1) 解答欄	
考え方	
答え	倍

2 (2) 解答欄	
考え方	
答え	倍